

令和2年度 事業・決算報告

事業報告

- 小地域ネットワーク活動の推進
- 関係機関・団体との連携による事業
(コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業、生活支援コーディネーター配置事業、生活困窮者支援)
- ボランティアセンター運営事業
- 在宅サービス事業
(ひとり暮らし高齢者への個別訪問、電話訪問事業、車イス・福祉車両の貸出)
- 地域啓発事業(広報紙、しおり等の発行)

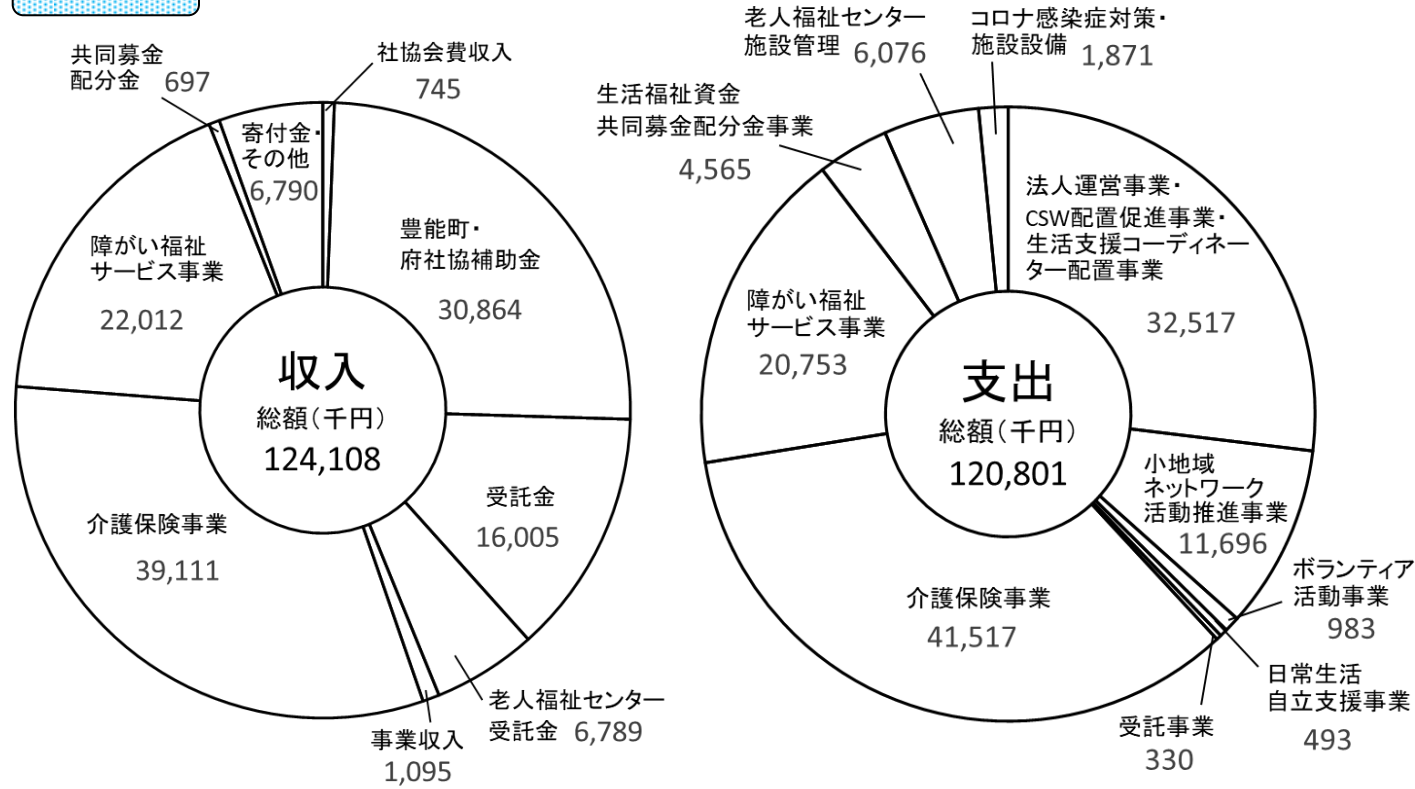
事業報告書および決算書は、社会福祉協議会の窓口、ホームページにてご覧いただけます。



- 日常生活自立支援事業
- 当事者組織の運営支援
- 献血推進事業
- 共同募金、歳末たすけあい運動
- 生活福祉資金の貸付
- 介護保険関連事業(居宅介護支援、訪問介護)
- 障がい福祉サービス事業
- 老人福祉センター(永寿荘・豊寿荘) 施設管理事業 等



決算報告



「お久しぶり」自然と笑顔があふれます。



広がる笑顔

ひとり暮らし高齢者の会「あかね」では、今は集まることが難しいので、参加者同士でお弁当を届けあっています。お弁当と一緒に笑顔もお届けしています。



「第4次豊能町地域福祉計画・第4次豊能町地域福祉活動計画」

令和3年度から7年度の5年間を計画期間とする標記の計画を豊能町と協働で策定しました。今後は計画に基づき、「地域のつながりで作る 安心して暮らせるまち・とよの」を基本理念とし、地域のみなさまと一緒に誰もが住みやすいまちづくりを推進していきます。計画の本編・概要版は社会福祉協議会のホームページにてご確認ください。



夏から秋に注意 ~大雨や台風から身を守ろう~

例年夏から秋にかけて、台風や集中豪雨が多く発生します。近畿地方では2018年台風21号による強烈な風により大阪にも大きな被害をもたらしました。災害が起こる前に備えをもう一度確認しましょう。ご近所同士で確認することや、普段から顔見知りの関係になっておくことも大切です。

また、災害対策基本法が令和3年5月に改正され、避難情報の伝え方が変わりました。『高齢者等避難』は高齢者や障がいのある人は危険な場所から安全な場所への避難を、『避難指示』は必ず全員の避難が必要です(避難勧告は廃止されました)。台風や大雨の危険が近づいているという気象情報が発表されたら、「大丈夫だろう」と、対応が遅れることがないように安全を確保しましょう。

家の外での3つの備え



- 1.窓や雨戸は閉めて、必要に応じて補強する。カーテンは閉めておく。
- 2.家の周りの側溝・排水溝の枯葉やごみを掃除し、水はけをよくしておく。
- 3.風に飛ばされそうなものは、しっかり固定する。または室内に収納する。

家の中の3つの備え



- 1.非常用品を確認し、リュックサックや袋などにまとめておく。
- 2.断水に備え、飲料水を確保するほか、浴槽やバケツなどに水をためておく。
- 3.避難場所や避難経路を確認する。家族で緊急時の連絡方法を確認しておく。

社協 役員選任について

6月15日の評議員会で右記の役員が選任されました。(任期2年)

豊能町の福祉推進に力を合わせて取り組みます。よろしくお願い申し上げます。

会長	向井 勝		
副会長	長越 利秋		
理事	小林 修	宮野 生代	宮崎 純光
	三木 ひろみ	桑原 康男	
監事	森田 次郎	水口 修三	